

旧年中は大変お世話様になりました。おかげ様で、長年の夢であった政権交代が実現し、新たな日本のスタートとなりました。政権交代とは税金の使い方をこれまでと変えること、政策の優先順位を変えることです。まずは前政権時代の無駄を徹底的に洗い出し、国民の変革の声に応えるべく、景気の一刻も早い立て直しはもちろんのこと、「生活が第一」の新たな日本、新たな地方を造ってまいります。

ただ9月の政権交代は、予算編成や政策の実現において、新政権にとってあまりに時間がない、最悪の時の引継ぎになりました。新政権の舵取りには、おぼつかないところもありますが、少し長い目で見ていただきたいと存じます。

なお、去年は県議会の不祥事が連続しました。確約書問題、議長選に関して贈答品問題、連座制による現職議員の辞職、そして年末に無免許運転事件も発覚しました。県議会の信頼回復のためにも、襟を正して県政の課題解決に真摯に取り組んで参ります。

また昨年、延岡市選出の井本県議会副議長が辞職いたしました。課題山積の



12月議会で一般質問

県北にとっては大きな損失、穴を埋めるため残された議員が、党派を超えて一丸となって全力を尽くしてまいります。

最後に、本年が災害のない安心安全の年となりますことと、皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことをお祈り申し上げます。また、本年も叱咤激励を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

9月議会のご報告

総選挙直後の9月議会は、政権交代により国会と県議会の与野党のねじれが発生。新政権に対して、私どもの納得できない意見書が、自民党より多数提出され、全会一致の原則を踏みにじられ、数の力で可決させられました。平成23年の4月の統一地方選挙までこの状態は続きます。一人でも多くの仲間の議員を増やしていかなければならないと痛感させられました。なお、私は平成20年度決算議案に関して、初めての総括質疑を行いました。

1. 9月定例県議会としては過去最大の約453億円の経済・雇用対策の一般会計補正予算を可決。
2. 平成20年度決算を4年ぶりに認定。
3. 井本副議長の辞任に伴い萩原新副議長（都城市選挙区）の選任。

以上の件等々が決まりました。

11月議会のご報告

11月25日から12月11日までの17日間開催され、以下の内容等が決まりました。

1. 経済・雇用対策と新型インフルエンザ対策を盛り込んだ約66億円の補正予算を可決。
この結果、一般会計の予算規模は約6347億2867万円となります。
2. 職員や議員等の期末手当の減額等の条例改正など17件の議案を可決しました。

一般質問

平成21年を締めくくる議会で、一般質問を行いました。一部をご紹介します。

質問項目

- | | | |
|-----------|-------------|--------|
| 1 知事の政治姿勢 | 4 移住促進 | 7 道路行政 |
| 2 医療・福祉行政 | 5 観光行政 | 8 教育行政 |
| 3 雇用対策 | 6 農林水産業の活性化 | |



質問要旨

知事の政治姿勢

【質問】 来年度予算は、知事のマニフェストの総仕上げになるが、どのような点に重点をおいていくのか。

【知事】 私の任期最終年に当たる平成22年度の当初予算は、徹底した財政改革により、収支不足の圧縮等を図り、選択と集中で県が抱える諸課題に、適確に対応した優先度の高い施策や事業に積極的に取り組み、私のマニフェストの総仕上げを目指してまいります。

【質問】 国民に新しい舵取りを託された鳩山政権のこの2ヶ月半をどのように評価しているのか。

【知事】 大変厳しい雇用・経済情勢のもと、また新年度の予算編成を目前にした時期の政権交代にかかわらず、様々な改革や政策に意欲的に取り組んでおり、今後の成果に大いに期待している。地方は大変厳しい状況にあり、地域の実情・地方の声に十分配慮して、景気雇用対策はもちろんのこと、地域主権の実現、医療福祉の充実、道路等の社会基盤の整備などスピード感をもって取り組んでいただきたい。

宮崎日日新聞(2009年12月2日)

市(区)は連休中の台北線について今後の見通しを質問。
高山幹男県民政策部長は「台北線はソウル線とともに東アジアとの交流を図る重要な基盤。観光、経済団体と連携しながら台湾の政府機関や、これまで本県にチャーター便



田口雄一議員(民主・延岡)

県議会 一般質問

2日目

運航の実績がある中華航空などの航空会社に積極的に働き掛けをしている。引き続き早期の運航再開に向け全力で取り組む」と述べた。
田口議員は、厳しさを増す新規卒業者の就職状況から、県の雇用対策を質問。渡邊商工観光労働部長は「高校卒業予定者をはじめ多くの休職者が就職や生活への不安を感じている。年の瀬を迎える時期は相談、情報提供体制の強化が必要。国や市町村と連携して年末相談窓口設置に取り組み」と説明した。
県の雇用対策を問われた知事は「県独自に何かできないか部局に指示をしている。できるだけ早い時期に計画案をまとめた」と述べた。

【質問】 これまでの陳情とは大きく異なり、民主党が進める各県連で対応する新たな陳情の受け入れについて、知事の見解を。

【知事】 かねてから、地方から大挙して上京し、霞ヶ関を回ること大いに疑問を持っていた。このため、明確なルールに基づいて、効率的に要望を集約する新たなシステムを評価し、その成果に期待している。今回、県は平成22年度予算の政府予算に対し、重点事項23項目を要望しており、いずれも本県の活性化や県民生活の安定・向上に必要な事項である。公平公正な判断のもとで実現いただくことを願っています。

医療・福祉行政

【質問】 若い女性に急増している子宮頸がんの予防ワクチンが承認され、年内にも接種できるようになる。しかし、予防目的のため保険外診療となり、全額自己負担(3~5万円)。公的補助は出来ないか。(対象となるのは性交渉未経験の女児)

【福祉保健部長】 現在、世界の100カ国以上で導入されており、わが国では本年10月に製造販売の承認がなされた。県としては効果的な接種対象年齢が確定されていない、性教育と併せた対策が求められるなど、国レベルで検討すべき事項も多く、当面その動向を見守る。

水産業の活性化

【質問】 水産業を取り巻く環境は大変厳しく疲弊している。9月補正で予算措置した「漁業緊急保障対策資金」を、関係者は大きく期待しているが、進捗状況は。

【農政水産部長】 厳しい状況の本県水産業の経営改善を早急に支援するため、対象者となる方々に県の利子補給による低利融資を行い、資金融通の円滑化や金利負担の軽減を幅広く行うものである。現在、各漁協が漁業者へ説明を行

医療知事体制十分とはいえない ——地域の取り組み評価も

県議会

東国原知事は1日の県議会11月定例会一般質問で、延岡市などによる医師の就業促進など地域医療確保への取り組みを評価する一方、「現在も延岡市夜間急病センターの365日の深夜対応ができていないなど圏域の初期救急医療体制は十分とはいえない」との認識を示し、延岡市に初期救急医療体制の一層の充実強化を求めた。田口雄二議員(民主、延岡市区)に答えた。

田口議員は「数年、延岡市などは非常に少ない医療資源の中で、医師不足状態の延岡病院体制維持に向けさまざまな取り組みを進めてきた」と切り出し、「コンビニ受診自粛の啓発や、延岡病院の休診科を補うため消化管出血や脳梗塞(こうそく)患者の地元病院の輪番制受け入れ態勢整備、夜間急病センターの10月からの毎週金、土曜深夜帯診療スタートなどを紹介

「民間レベルでも地域医療を守る真北ネットワークの会」が、医師確保の署名運動などさまざまな活動を展開している。この一連の取り組みをどう評価するか」と尋ねた。

知事は「延岡市や市医師会を中心に、医師の就業促進や安易な時間外受診の抑制など地域医療の確保に大変努力されている。延岡病院の時間外救急患者減少など一定の成果も得られている」と評価。その一方で、夜間急病センターの365日の深夜対応未整備を指摘し、「圏域の初期救急医療体制は十分とはいえない状況。初期救急医療体制の充実や不要不急の受診抑制など、救急医療の確保に向けた一層の取り組み強化をお願いしたい」と強調した。

知事はまた「今後作成した地域医療再生計画に基づき、延岡市や関係市町村と一体となって県北の医療確保に努めたい」とも述べた。

っているところであり、今後融資が速やかに開始されると承知している。適正かつ円滑な融資が行われるよう、関係機関に指導を行ってまいります。

民主党 宮崎県連 定期大会開催

09.11.8

馬淵国土交通省副大臣・東国原知事の他、多数の来賓をお招きし、県連大会を開催。
'09年度の活動報告等と'10年度の活動予定等を確認いたしました。



馬淵国土交通省副大臣 (於:宮崎市ホテルスカイタワー)

また、役員改選が行われ、幹事長に再任されました。与党になってからの党運営、責任も期待もぐっと大きくなって大変ですが、やりがいもあり、ひとつひとつ地道に実行あるのみです。

国と地方の関係が大きく変わろうとしています

地方からの要望として、民主党のマニフェストに盛り込まれた地方分権、地域主権が推進されることとなります。地域主権、一括交付金等により、ひも付き補助金からの脱却を進めます。これまでは補助金を目的外に使うことが出来ませんでした。地方が首長の判断で独自の街づくりに見える財源と権限が段階的に移譲されます。これまで以上に首長と自治体の能力が問われることとなります。

そのスタートの年に行われる延岡・宮崎・都城の市長選は、これまでと違う意味合いがあります。5年先、10年先にいい選択だったと思える市長を選出しましょう。

活動 フォト

総選挙で民主党が大勝
道休議員が地元から誕生
(09.8.30)



原因不明の難病と戦いながら、紅白出場を目指す「日本一ヘタな歌手」の本を出した濱田明美（佐土原町出身）さんと（県難病相談・支援センター）
(09.10.19)



延岡こども発達支援センターさくら園の運動会で、競技に参加



発達支援センターさくら園
第7回うんどうかい



平成21年10月24日：西小学校体育館

都会から農山村漁村への移住のお手伝いをしている「ふるさと回帰支援センター（東京・銀座）」を会派視察(09.10.21)



日大高校柔道部の後輩、志々目徹選手が、19歳以下の世界一を決める世界ジュニア選手権（フランス・パリ）で、5試合すべて一本勝ちで優勝。その祝賀会で。
(09.11.18)

内藤家六代藩主政順（まさより）の夫人で井伊直弼（いなおすけ）の姉「充真院（じゅうしん）の繁子」と、そして七代藩主で直弼の弟「正義（まさよし）」のふるさとに行つて来ました。（滋賀県彦根市の「彦根城」）09.10.29



多くの方々にご来場いただき、県政報告を行いました(09.11.20)

**県政
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729

田口雄二

住所 : 延岡市夏田町445-1

e-mail: gucci.yuji.1203@docomo.ne.jp